

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-71373

(43) 公開日 平成9年(1997)3月18日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 6 B	5/00		B 6 6 B	G
	3/00		3/00	U
				R

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-228135

(22) 出願日 平成7年(1995)9月5日

(71) 出願人 000232955

株式会社日立ビルシステム

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地

(72) 発明者 石山 勉

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株

式会社日立ビルシステムサービス内

(72) 発明者 山田 慎也

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株

式会社日立ビルシステムサービス内

(74) 代理人 弁理士 武 顕次郎 (外2名)

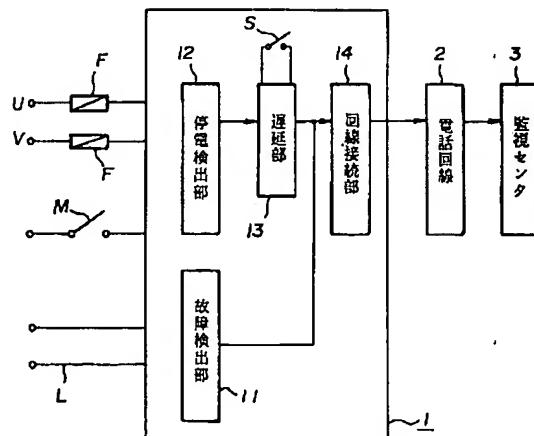
(54) 【発明の名称】 エレベータの遠隔監視装置

(57) 【要約】

【目的】 停電故障発報の動作試験を行なう場合、模擬的停電故障を発生させ、短時間に監視センタに発報し、この動作試験の作業時間の低減を図るエレベータの遠隔監視装置を提供する。

【構成】 エレベータの制御電源UVを検出する停電検出手段12、この停電検出信号を所定時間遅延させる遅延手段13とこの遅延された信号を電話回線2を介して監視センタ3に発報するエレベータの遠隔監視装置において、保守試験時に遅延手段13の遅延時間を遅延スイッチSを投入して短縮する手段を設けたものである。

【図1】



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 エレベータの制御電源を検出する停電検出手段と、この停電検出信号を所定時間遅延させる遅延手段と、この遅延された信号を電話回線を介して監視センタに発報する発報手段とを備えたエレベータの遠隔監視装置において、保守試験時に前記遅延手段の遅延時間をスイッチを介して短縮する短縮手段を設けたことを特徴とするエレベータの遠隔監視装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は停電発報の試験を短時間に行なうことができるエレベータの遠隔監視装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、エレベータの遠隔監視装置において、エレベータの制御電源に停電故障が発生した場合、瞬時停電の発報を防止するため、特開平4-179687号公報に開示しているように、エレベータの制御電源の停電を検出すると所定時間後たとえば10分間後にこの停電検出信号を電話回線を介して監視センタに発報している。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来技術において、制御電源の停電故障信号が確実に監視センタに発報されるかどうかの動作試験を定期的に行なっている。しかしながら上記従来装置においては停電故障を模擬的に発生させてから所定の遅延時間たとえば10分経過しないと監視センタへ発報されないから、この遅延時間経過するまで待ち続ける必要があり、この動作試験に長時間を要するという問題があった。

【0004】本発明は、上記の欠点に鑑みてなされたもので、その目的は、作業費の低減を図ることのできるエレベータの遠隔監視装置を提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】この発明は、エレベータの制御電源を検出する停電検出手段と、この停電検出信号を所定時間遅延させる遅延手段と、この遅延された信号を電話回線を介して監視センタに発報する発報手段とを備えたエレベータの遠隔監視装置において、保守試験時に前記遅延手段の遅延時間をスイッチを介して短縮する短縮手段を設けることにより達成される。

## 【0006】

【作用】この発明では、停電発報の動作試験を行なうときには、スイッチを投入して所定の遅延時間をたとえば10秒に設定する。そこで、保守技術員は制御電源に模擬の停電信号を発生させると、この信号は10秒後に監視センタに発報される。したがって、この動作試験の作業時間を大幅に短縮することができる。

## 【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1を用いて説明

する。

【0008】図1は本発明になるエレベータの遠隔監視装置のブロック図である。図1において、UVは端末装置1に供給する電源、Fは交流電源UVに接続されたヒューズ、Mは端末装置1の保守点検発報を行なうための保守スイッチ、Lは図示しないエレベータの制御装置と端末装置1と信号を伝達する信号線である。端末装置1は信号線Lに接続されエレベータの故障を検出する故障検出部11と交流電源UVの停電を検出する停電検出部12とこの停電検出部12で検出した停電信号を所定時間たとえば10分間遅延する遅延部13と前記故障検出部11で検出した故障信号と遅延部13からの停電信号を回線接続部14に入力し、所定の通信信号に変換し、電話回線2を介して監視センタ3に発報する。監視センタ3では、上記の故障信号より故障内容をディスプレイに表示し、また、プリンタに印字する。

【0009】Sは本発明になる遅延スイッチで、この遅延スイッチSを投入すると遅延部11で設定された所定の遅延時間を短縮するものでたとえば設定された所定の遅延時間10分が10秒に短縮され、この結果、この遅延スイッチSを投入すると停電検出部12からの停電信号は10秒後に回線接続部14に入力される。

【0010】なお、端末装置1は、交流電源UVを整流し、図示しないバッテリーに充電し、このバッテリー電源により供給されており、ヒューズFを抜いても、端末装置1は正常に動作する。

【0011】次に、本実施例の動作を説明する。

【0012】エレベータの監視状態においては、保守スイッチM、遅延スイッチSを開放する。この時、停電が発生すると停電検出部12で停電を検出し、この停電信号を遅延部13で所定時間たとえば10分間遅らし、10分以上停電が継続すると回線接続部14により停電信号を通信信号に変換し、電話回線2を介して監視センタ3に発報する。

【0013】次に、停電故障検出の動作試験を行なうには、まず、保守スイッチMと遅延スイッチSを投入し、模擬的な停電故障を発生させるためヒューズFを抜く。この結果、端末装置1には交流電源UVが供給されないため、停電検出部12で停電を検出し、この信号は遅延部13により10秒だけ遅延させ、回線接続部14に入力され、電話回線2を介して監視センタ3に発報される。そして停電信号が監視センタ3に発報されたことを確認すると、ヒューズFを挿入するとともに、保守スイッチMと遅延スイッチSを開放し、正規の状態に復帰し、動作試験を終了する。

【0014】このように、本発明によれば、監視状態においては、停電信号を10分間遅延させていたが動作試験時には、これを10秒に短縮したので、停電発報の動作試験時間が監視状態の数分の一に短縮される。

【0015】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、停電故障を所定時間遅らせる遅延部に遅延スイッチを設け、この遅延スイッチを投入すると、この遅延時間を大幅に短くなるように構成したので、停電故障の動作試験時にはこの遅延スイッチを投入することにより停電発報の動作時間が著しく短縮され、この作業費用を大幅に低減することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

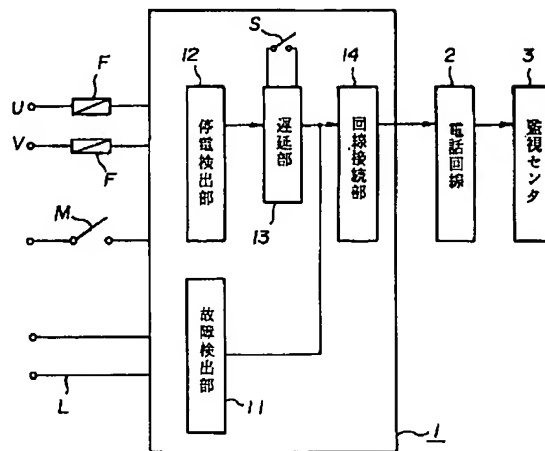
【図1】本発明のエレベータの遠隔監視装置の一実施例を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 端末装置
- 2 電話回線
- 3 監視センタ
- 11 故障検出部
- 12 停電検出部
- 13 遅延部
- 14 回線接続部
- F ヒューズ
- M 保守スイッチ
- 10 S 遅延スイッチ
- L 信号線

【図1】

【図1】



DERWENT-ACC-NO: 1997-231014

DERWENT-WEEK: 199721

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Remote monitoring apparatus for lift - has delaying switch which shortens delay time of delay mechanism that retards power interruption at predetermined time when power failure is detected by power failure detector

PATENT-ASSIGNEE: HITACHI BUILDING SYSTEM SERVICE KK[HITAN]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0228135 (September 5, 1995)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 09071373 A	March 18, 1997	N/A	003	B66B 005/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 09071373A	N/A	1995JP-0228135	September 5, 1995

INT-CL (IPC): B66B003/00, B66B005/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09071373A

BASIC-ABSTRACT:

The apparatus has a power failure detector (12) which detects the power interruption in the controlled source of the lift. A delay mechanism (13) retards the interruption of power at predetermined time when the power failure has been detected by the power failure detector.

A maintenance switch (M) is mounted corresponding to the delaying time of the delay mechanism during inspection of the lift. A delaying switch (S) shortens the delay time of the delay mechanism.

ADVANTAGE - Reduces work cost concerning performance test of lift since operating time of power failure warning is shortened by delaying switch.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/1

TITLE-TERMS: REMOTE MONITOR APPARATUS LIFT DELAY SWITCH SHORTENING DELAY TIME  
DELAY MECHANISM RETARD POWER INTERRUPT PREDETERMINED TIME POWER  
FAIL DETECT POWER FAIL DETECT

DERWENT-CLASS: Q38 X25

EPI-CODES: X25-F04;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-190878